



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1088 2017年9月4日

ARIBからのお知らせ

第104回規格会議の決議に基づく標準規格等の電子ファイルの公開について

2017年7月27日(金)に開催された第104回規格会議の決議に基づき、標準規格(策定1件、改定13件)、技術資料(策定1件、改定5件)について、電子ファイルをARIB Webサイトの標準規格等一覧(http://www.arib.or.jp/tyosakenkyu/kikaku_tushin/index.html)に公開しましたのでお知らせいたします。

また、ARIB 会員でない方向けに、ARIB Web Store(<https://webstore.arib.or.jp/jp/>)において標準規格等の販売を行っておりますので、併せてお知らせいたします。

1 策定が決議された標準規格

標準規格番号	最新版数	標準規格名
STD-B70	1.0	デジタル放送におけるデータコンテンツ交換方式(第2世代)標準規格

2 改定が決議された標準規格(議案順)

標準規格番号	最新版数	標準規格名
STD-T63	12.40	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD
STD-T94	3.5	OFDMA Broadband Mobile Wireless Access System (WiMAX™ applied in Japan) ARIB STANDARD
STD-T99	3.0	特定小電力無線局 150MHz 帯人・動物検知通報システム用無線局の無線設備標準規格
STD-T104	4.40	LTE-Advanced System ARIB STANDARD
STD-T109	1.3	700MHz 帯高度道路交通システム標準規格
STD-B10	5.11	デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格
STD-B24	6.4	デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式標準規格
STD-B60	1.10	デジタル放送における MMT によるメディアトランスポート方式標準規格
STD-B62	1.7	デジタル放送におけるマルチメディア符号化方式(第2世代)標準規格
STD-B68	2.0	超高精細度テレビジョン信号スタジオ機器間インタフェースにおけるタイムコードフォーマット標準規格

STD-B37	2.6	補助データパケット形式で伝送されるデジタル字幕データの構造と運用標準規格
STD-B39	1.3	補助データパケット形式で伝送される放送局間制御信号の構造標準規格
STD-B26	3.0	SNG 伝送システム標準規格

3 策定が決議された技術資料

技術資料番号	最新版数	技術資料名
TR-B42	1.0	4K 映像ビット直列インタフェースにおける放送局間の情報伝送に使用する補助データ運用規定技術資料

4 改定が決議された技術資料（議案順）

技術資料番号	最新版数	技術資料名
TR-T12	12.40	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB Technical Report
TR-T19	4.40	LTE-Advanced System ARIB Technical Report
TR-T20	1.2	700MHz 帯高度道路交通システム陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験条件技術資料
TR-B38	1.2	VHF・Low 帯に適用するセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送運用規定技術資料
TR-B39	1.4	高度広帯域衛星デジタル放送運用規定技術資料

IPR 検索サービスについては、今回の規格会議に関する IPR 情報を近日中に更新する予定です。この検索サービスは以下の URL でご利用いただけます。

<http://www.arib.or.jp/tyosakenkyu/sakutei/IPR/index.php>

CEATEC JAPAN 2017 での ARIB の出展について

『CEATEC JAPAN 2017』が、10月3日(火)から6日(金)までの4日間、幕張メッセにおいて開催されます。

今年の CEATEC は、「日本の成長戦略や未来を世界に向けて発信する Society 5.0 の展示会」として、業界の垣根を超え、政策・産業・技術を連携して、IoT・ロボット・人工知能(AI)を活用した「つながる社会、共創する未来」を描き、披露・発信する総合展示会を目指すとしています。

ARIB では今年も同展示会に協賛するとともに、下記のとおり、ARIB 独自ブースを設け、電波システムの実用化及びその普及を促進し、電波産業の振興・発展を図る事業の一環として、最近の事業活動を紹介します。また、本年度の電波功績賞を受賞されたシステムの紹介を行うことにより、電波の有効利用に対する関心や理解を深めていきます。

なお、CEATEC へ出展するパネル展示の内容については、ARIB ホームページで公開する予定です。

皆様のご来場をお待ちしています。

記

- 1 会期： 2017年10月3日（火）～6日（金） 10：00～17：00
CEATEC Web サイト：<http://www.ceatec.com/ja/>
- 2 会場： 幕張メッセ（千葉市美浜区中瀬 2-1）
ARIB 出展場所：社会・街 エリア（ホール1 小間番号：C005）
- 3 出展内容
 - (1) パネル展示による ARIB の概要、研究開発活動の紹介
 - (2) 第 28 回電波功績賞を受賞した技術やシステムの紹介

ARIBの動き

SET EXPO 2017 及び関連会合等の概要について

8月21日から24日にかけて、ブラジルサンパウロにおいて、テレビ放送技術に関する展示、講演会等から構成され中南米最大の規模を誇る SET EXPO2017 が、ブラジルテレビ技術協会（SET）の主催により開催されました。

開会式では、総務省の富永総務審議官が挨拶を行ったほか、講演会では、総務省の放送技術課小川技術企画官、菅原 DiBEG 議長、村山 DiBEG 次世代放送 TF 主任が講演を行いました。

展示では総務省が設営した日本パビリオンに ARIB/DiBEG 等が ISDB-T の国際普及活動等に関するパネル展示を行うとともに、緊急警報放送（EWBS）を活用した新たな情報表示システムの紹介や小型の室内アンテナによる実放送の受信デモンストレーション等を実施しました。



日本パビリオンの様子



技術調和会合の様様

また、SET EXPO2017 に併せて、21日には地上デジタル放送に ISDB-T を採用した各国が技術的な意見交換を行う ISDB-T インターナショナルフォーラム技術調和会合が開催されました。

会合には日本（総務省、ペルー及びコスタリカ派遣の JICA 専門家、ARIB/DiBEG）、ブラ

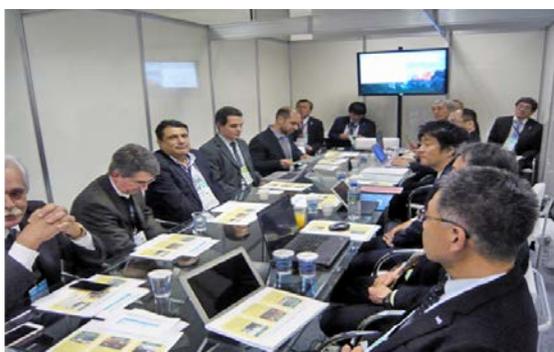
ジル、パラグアイ、アルゼンチン、エルサルバドル、エクアドルの6か国が参加しました。

参加各国より、地上デジタル放送の実施状況、アナログ放送終了の進捗状況等について報告があり、さらに、3つの分野（ハードウェア、ミドルウェア、EWBS）の技術調和文書について、各国の状況を反映した修正等が提案され、議論が行われました。

22日にはARIB/DiBEGとSBTVDフォーラムの定期的な意見交換会の第4回会合を開催し、菅原DiBEG議長ら7名が参加しました。

会合では、SBTVDフォーラムで検討中の次世代地上デジタル放送に関して説明がなされ、次世代放送に関する要求条件等の議論を開始すること、ARIB標準とブラジルABNT規格の差分をとりまとめた共同文書の更新作業については、両方で確認が終了した文書の更新作業を完了することや残りの文書の更新、確認作業を順次行なっていくことなどを確認しました。

次回の会合は来年4月に米国で開催される放送機器展の機会を捉えて行なう予定です。



意見交換会の模様

sXGP方式普及促進の取組みについて

XGPフォーラム（事務局：東京都千代田区、議長：前田洋一氏）は、1.9GHz帯を使用し、免許を要しない無線局として、TD-LTE方式に基づく新たな無線技術である「sXGP方式について、同方式の規格立案を始めとして、総務省情報通信審議会での技術的条件の検討に積極的に参画してきました。

<参考> 1.9GHz帯デジタルコードレス電話にTD-LTE方式の導入を検討

http://www.xgpforum.com/new_XGP/ja/topics/sXGP/sXGP_PlugFest.html

先般2017年3月31日の同審議会における一部答申を受けて、近く同方式を実現する改正省令等の施行が予定されていることから、当フォーラムでは具体的な技術開発に向けた検討を行っており、このたび技術検証手順の策定及びその実施を行なっていくこととなりましたのでお知らせいたします。

本取組みにおいては、同方式に対応した構内設備や端末ならびに商用サービスの早期提供に向けて、XGPフォーラム及び会員各社で今後定める、同方式標準検証手順に沿った技術検証を実施し、利用者利便の向上ならびに本規格の信頼性向上に努めていきます。

第 16 回日中韓情報通信標準化会議(CJK-16)の概要

情報通信分野の一層の発展に向けて、日中韓三カ国の情報通信標準化機関（SDO）の相互協力をより積極的に推進することを目的として 2002 年に「日中韓情報通信標準化会議（CJK IT Standards Meeting）」が設立され、活動を続けてきました。

その第 16 回会合（CJK-16）が、TTA*のホストにより 2017 年 8 月 29 日から 31 日まで、日中韓の 4 SDO（ARIB、CCSA*、TTA*及び TTC*）から総勢 33 名（ARIB からは佐藤参与を団長に 6 名）が参加し、韓国・済州島で開催されました。

今会合では全体会合（Plenary Meeting）の直前に、第 14 回 WPT（Wireless Power Transmission/ Transfer）WG 会合も同じ会場で開催されました。

全体会合は大きく、各 SDO からの活動状況・課題の報告、各 WG からの報告、Strategic Session の 3 部で構成されました。

WG 報告では、IMT WG からは、ITU-R SG5 の WP5D 第 26 回・27 回に共同提案を行なったこと、M.[IMT-2020.EVAL]、M.[IMT-2020.SUBMISSION]報告の成立に貢献したこと、TG5/1、AWG*に向けても協調して標準化活動を行なっていく計画が示されました。また WPT WG からは、WPT のサービスやアプリケーションに関するレポートを AWG-21 で提示して承認されたこと、WPT のアプリケーション・技術・標準化についての最近の発展をまとめた技術資料を AWG-22 に入力する予定であること、ITU-R SG1 の WP1A/B および AWG に向けて協調した活動を行ない、周波数管理における共用検討や安全・EMC・人体影響等を新たな作業領域に加える計画が報告されました。

Strategic Session では“Standardization Challenges for Convergence and Vertical”という題名の下で各 SDO からプレゼンテーションに続いてパネルディスカッションがあり、今後取組んでいく分野や方法が話し合われました。

最後に、次回の日中韓情報通信標準化会議（CJK-17）は 2018 年 10 月末に、松江市で開催することが、ARIB（議事進行担当）と共にホストとなる TTC（ロジスティック担当）よりアナウンスされました。



全体会合の様相

*CCSA: China Communications Standards Association 中国通信標準化協会（中国）

*TTA: Telecommunications Technology Association 電気通信技術協会（韓国）

*TTC: The Telecommunications Technology Committee 情報通信技術委員会（日本）

*AWG: APT Wireless Group アジア・太平洋電気通信共同体（APT）無線グループ

第 152 回電波利用懇話会（ITS 情報通信システム推進会議共催）を開催 「（一社）UTMS 協会の活動について、700MHz 帯高度道路交通システム他」

8月31日（木）に、第152回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は ITS 情報通信システム推進会議との共催で、UTMS 協会専務理事の川邊様と UTMS 協会 路車協調システム作業部会長の小林様を講師にお迎えし、「（一社）UTMS 協会の活動について、700MHz 帯高度道路交通システム他」と題してご講演いただきました。ご講演では、川邊専務理事から UTMS 協会の活動概要についてご紹介いただいた後で、小林部会長から具体的な活動事例として 700MHz 帯高度道路交通システムの活用例について分かりやすくご説明いただきました。

当日は、およそ 60 名の会員の皆様が参加され、熱心にご聴講いただきました。



第 152 回電波利用懇話会の様子と講師の川邊様、小林様

今週の ARIB 内会合（9月4日～9月8日）

9月4日（月） 5GMF 委員長連絡会、企画委員会

今週の国際会合（9月4日～9月8日）

9月4日（月）～5日（火） CJK IMT WG #50（中国・蘇州）

9月5日（火）～7日（木） Northwest Pacific DDR Meeting Seventh Session（韓国・世宗市）

《 IoT・AI エンジニアに必須 》
第 25 回 モバイルシステム技術検定

モバイルシステム技術検定試験は、モバイルシステム構築に必要なワイヤレスデータ通信、モバイル情報端末、アプリケーション、セキュリティ、コンテンツ、M2M/IoT など構成する要素技術の理解度を計ります。システムエンジニア、コンサルタント、営業 SE などモバイルシステムで活躍を目指す方々には必須資格となります。

既に 67,000 人以上の方が受検されています (2017 年 3 月末現在)。

多くの企業からは「取得推進資格」として認定をいただき、業界標準資格として位置づけられております。皆様の資格取得への挑戦を期待しております。

【実施日時】 2017 年 10 月 28 日 (土) ・2 級 9 : 50 ~ 11 : 30
・1 級 (ネットワーク) 9 : 50 ~ 10 : 50
(端末・アプリケーション) 11 : 50 ~ 12 : 50
(モバイルシステム) 14 : 10 ~ 15 : 10

【開催場所】 東京、横浜、名古屋、大阪、※札幌、※仙台、※さいたま、※広島、※福岡
(※会場は 2 級検定のみ)

【受検料】 ARIB 会員様は割引価格となっております。
2 級 : 12,900 円 (税込)
1 級 : 1 科目 9,700 円 (税込)、23,300 円 (税込)

【申込期間】 2017 年 8 月 1 日 (火) ~ 9 月 29 日 (金)

◆お申込みは Web から !

http://www.mcpc-jp.org/kentei/kentei_msg/index.html

モバイル&IoTで飛躍する モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
MCPC 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリーンビル2階
<http://www.mcpc-jp.org/>

検定・講習会のお問合せは
MSEC-MCPC MCPC検定事務局 TEL.03-5401-1735
FAX.03-5401-1937
e-mail:msec@mcpc-jp.org



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp